



西村 元一 議員

町長の人材育成の具体的な考えは

問 岡本町長が2期目になり、職員に対してどのような指導をされているのか。

答 岡本町長

3つの意識改革と3つのSに重点を置いている。
①主役は町民である。常に町民目線で考えることを徹底して求めている。

②政策立案の主体は職員である。各所属で十分に協議を行い、より効果的な政策を立案する集団となるよう指導している。

③コスト意識と町民の税金を使っている意識を持ち、徹底的に無駄を省くことを意識つけている。

最初のSは、「センス」。アンテナの感度を上げて、

町民が何を求め、何を考えているのかを的確に捉え、対応策を考えること。

社会の動きに対し、行政としてどのように対応すべきかを的確に判断することに努めるよう求めている。

2つ目のSは、「スピード」。素早く処理を行うことでその効果は大きく異なる。タイミングを逃さない

ことを心掛けるよう求めている。

最後の3つ目のSは、「ソフト」。町民目線で丁寧な対応をお願いしている。

町長に就任して以来、年度始めの辞令交付式や新採職員研修などの機会を捉えて、町長訓示として繰り返し職員に周知徹底を図っている。

特別定額給付金の取組は

問 対象者は、令和2年4月27日に住民基本台帳に登録されている者だが、4月28日以降に生まれた者への給付は。

答 徳居副町長

特別定額給付金の対象外とされた4月28日以降に生まれた子どもに対し、子育て支援として独自の事業を実施している市町がある。しかし、本町では、新型

コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について検討した結果、従前から手厚い支援を行っている。子育てに対する支援よりも町内経済の維持、回復や公共施設、教育施設の感染予防対策を優先するべきである。この考えから、プレミアム付商品券の発行、公共施設における感染予防環境の整備などを実施した。

財政改善策への考えは

問 ①R施設等導入の考えは。

答 ②ホテル等の誘致は。

答 岡本町長

①広営ギャンブルを行う施設は、財源確保の一助にはなるが、治安の悪化や青少年への悪影響、ギャンブル依存症など、教育の町を宣言している本町では、施設を誘致する考えはない。
②本町にホテルを建ててい

ただく事業者が現れたら、歓迎する。

問 南黒田の工業団地の取組は。

答 大川産業建設部長

引き続き関係機関とも協議を重ね、事業の実現性について検討を進める。

